

EYE NET

アイ・ネット

第55号

令和5年2月

発行 前原校区

青少年育成指導員会

編集 広報部

第10回前原校区ぬくもり文化祭

前原校区青少年育成指導員会は、広報活動として、10月22日、23日に開催された、前原校区ぬくもり文化祭に参加しました。



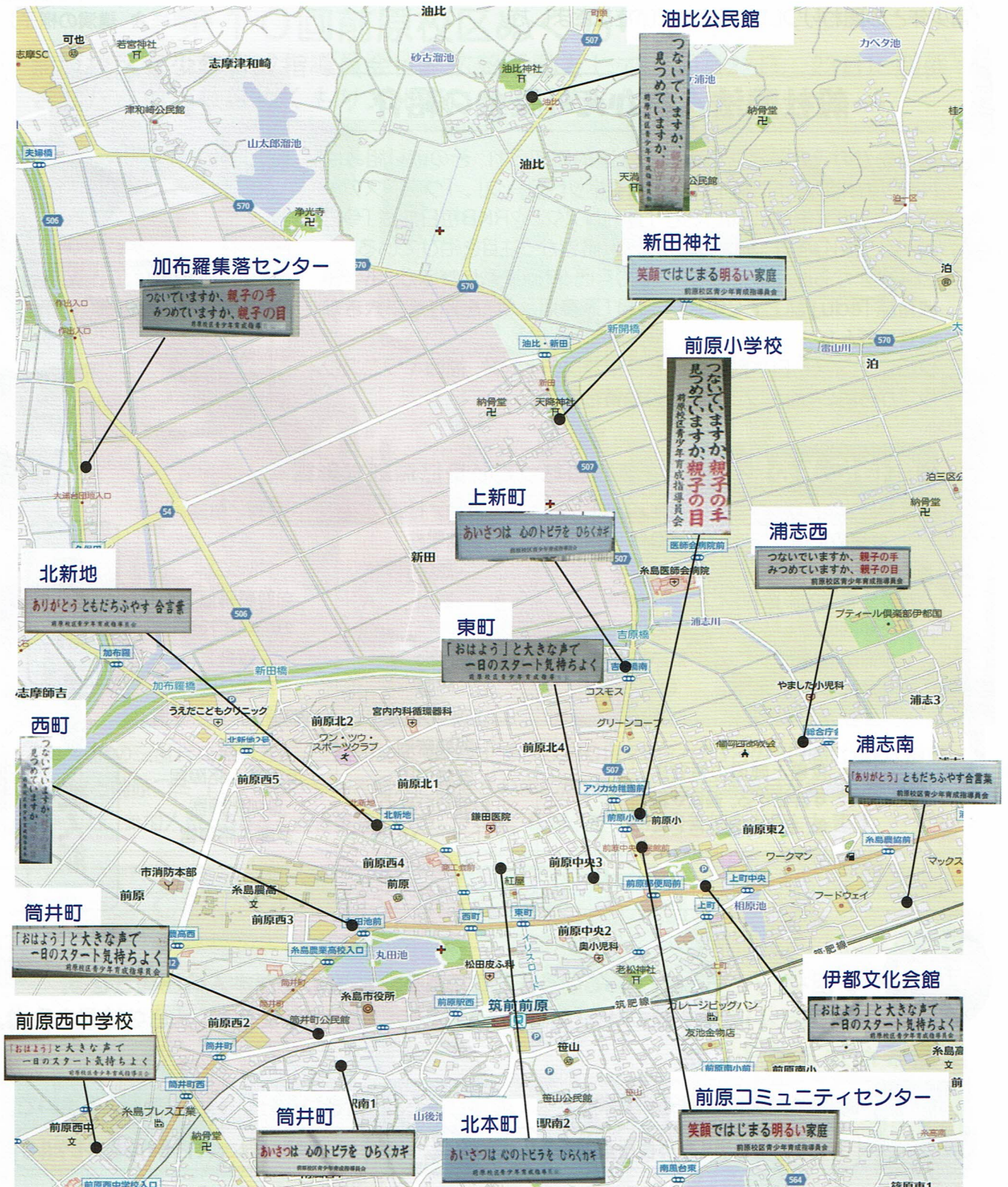
毎年恒例の三世代交流を目的とした『ぬくもり文化祭』が、10月22日と23日の2日間に渡り、前原小学校と前原コミュニティセンターで盛大に開催されました。青少年育成指導員会が担当したダーツゲームは、参加人数655人で過去最高でした。今年も、また、たくさんの参加をお願いします。

ステージでは、アトラクションと発表



育成標語看板について

各行政区などに「育成標語看板」を設置させていただいています。
看板が破損もしくは通行に危険な状態の時は、前原コミュニティセンター
(322-2481) へ連絡をお願いします。



前原校区青少年育成指導員とは？

前原校区のうち、6行政区(筒井町, 浦志西, 浦志南, 北新地, 北本町, 上新町)から 各2名、6行政区(油比, 新田, 上町中央, 南本町, 東町, 西町)から各1名の計18名が系島市から委嘱され、青少年の指導、育成、保護、地域防犯および各団体の運営補助等を行っています。

会長 益田(筒井町), 副会長 西村(上新町), 同 藤木(浦志西)
【環境指導部】9名, 【広報部】9名, 計18名

活動方針

“地域の子どもは地域で守り育てよう”

地域の一員として健全に育つための導き

- ・ 駅伝大会の支援
- ・ 地域の夏祭り、文化祭への参画

非行に走りにくく、犯罪・事故から守る環境づくり

- ・ (夜間)青色パトロール、夏祭りパトロール
- ・ 標語看板設置、広報誌発行

主な年間活動

- ◇ 全体会 (年4回)
- ◇ 執行部会 (年11回)
- ◇ 校区内夜間巡回 (年6回)
- ◇ 青色パトロール講習会 (5月17日)
- ◇ 青少年育成指導員研修会 (5月21日)
- ◇ ぬくもりコンサート (6月25日) (運営補助)
- ◇ 夏祭り夜間巡回 (他団体共同7月24, 25日) **中止**
- ◇ 夏休み夜間巡回 (青少年育成指導員7月28日、8月18日)
- ◇ 行政区夜間巡回 (各行政区夏休み期間中2回)
- ◇ ぬくもり文化祭 (10月22, 23日) (ダーツゲーム)
- ◇ 前原・東風校区対抗駅伝大会 (12月11日) (運営補助)



- ◇ 広報誌「EYE NET」発行 (2月1日)
- ◇ もりもりひろがる森林づくり (2月18日予定) (後援事業)

青少年育成指導員研修会

令和4年5月21日(土)

毎年、年度初めに青少年育成指導員を対象とした研修会を実施しています。研修会では外部講師による講演会を行い、育成指導員としての心構え、青少年との接し方、地域社会とのかかわり方などを学んでいます。今年度は、「一般社団法人おかえり基金」理事長の土井 高德氏をお招きし、団体の活動を通じた青少年との関わりについて講演していただきました。



【研修会 講演の様子】

一般社団法人おかえり基金の紹介

困難をかかえる子どもの支援で全国的に知られ、その取り組みはNHK「九州沖縄インサイト」、「福祉ネットワーク」、「クローズアップ現代」、TV東京「おはスタ」「週刊Nスタ」やRKB毎日放送「今日感TV」で紹介され、全国の教育者・保護者から注目を浴びている。2007年から西日本新聞で2年8カ月間67回連載したほか、小学館教育誌「edu」誌上で2年10カ月間「思春期edu」を連載し、大きな反響を呼んだ。ソロプチミスト日本財団から社会ボランティア賞、福岡キワニスクラブから第24回キワニス社会公益賞を受賞。



土井高德氏プロフィール

青少年希望の家「土井ホーム」代表
一般社団法人おかえり基金理事長
福岡県青少年育成課講師
京都府家庭支援総合センターアドバイザー
産業医科大学治験審査委員

虐待による影響

生涯にわたって心身に深刻な影響

神経学／医学	知性／認知	社会／行動	心理／情緒
軽度の損傷	IQ低下	攻撃性	不安
脳損傷・機能不全	不注意	怠学	抑うつ
神経生物学的影響	学習障害	家出	自尊感情低下
知的障害	学力の欠如	非行	低い対処技能
言語障害	低い読解力	乱交	敵意
身体的障害	学業不振	売春	自殺企図
致死	落伍	10代の妊娠	外傷後ストレス障害
食事と睡眠の質でまず評価する。過食や拒食、睡眠障害などで表現する。		問題飲酒	解離
		薬物使用	境界性人格障害
		犯罪及び暴力	身体化障害
		パートナーへの暴力	多重人格障害
		児童虐待	
		失業	

児童期

成人期

まとめ

- ◆ 困った子どもとは、困っている子どもである。
- ◆ 安心感が本人の回復させる。
- ◆ 望ましい行動を見つける「いいとこさがし」。
- ◆ 小さな変化が、大きな結果を生む。

困難をかかえる子には

時 熱

時間と共に成熟するのを待つ。

リスク管理モデルから長所基盤モデル

円環的支援

行きつ戻りつ・いつでも帰っておいで。

右肩上がりの回復モデルではなく円環的な回復モデルを